

リニア開業に向けた長野県の取組



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ/JR東海協力

令和8年7月15日

リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議（第3回）

長野県リニア活用基本構想・リニアバレー構想について

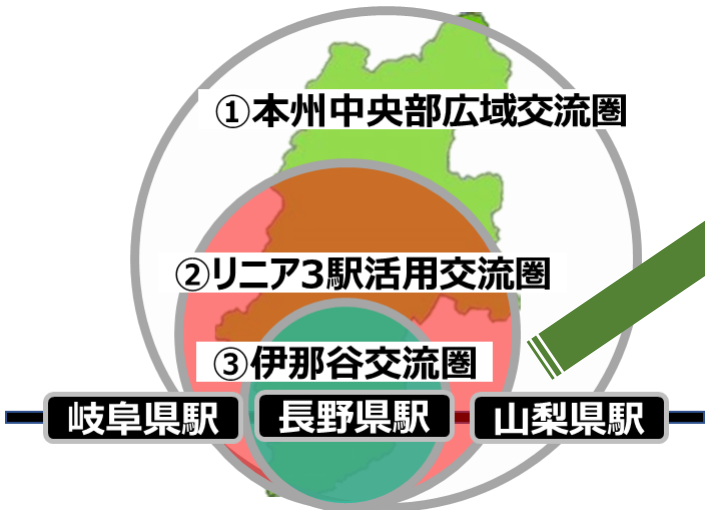


しあわせ信州
山々と育む すこやかな国

長野県リニア活用基本構想

リニアの整備効果を広く県内に波及させ、長野県の発展につなげることを目的に策定（H26.3）

駅勢圏・地域特性に応じた3つの交流圏構想



構想	想定地域
①本州中央部広域交流圏構想	【長野県全域】
②リニア3駅活用交流圏構想	【長野県駅・山梨県駅・岐阜県駅の駅勢圏】
③伊那谷交流圏構想	【長野県駅の駅勢圏】

リニアバレー構想

「③伊那谷交流圏」について、県と伊那谷地域の自治体における共通の指針とすることを目的に、「リニアバレー構想」を策定（H28.2）

リニアバレー構想 ～伊那谷がめざす姿～

- I 国際空港へ1時間でアクセスするグローバル活動拠点
～世界とつながる～
- II 巨大災害時のバックアップと食料・エネルギーの新しい供給拠点
～日本を支える～
- III 高度な都市空間と大自然とが近接した「対流促進圏域」
～ここで豊かに暮らす～
- IV 世界から人を呼び込む感動フィールド
～ここでふれあう～

めざす姿を実現するための取組

- I リニアを活かした産業振興
【グローバル活動拠点】
- II 災害に強い地域づくり
【災害時のバックアップ・食料等の供給拠点】
- III 信州暮らしの魅力向上
【移住定住・二地域居住の促進】
【豊かに暮らすための地域づくり】
【魅力ある自然環境の保全と景観の形成】
- IV 広域観光の推進
【広域観光ルートづくり】
【体験型観光の推進】
【外国人旅行者の誘客】
【豊かな自然と実績を活かした国際交流】

構想実現のための基盤整備
【良好なアクセスの確保】

長野県のビジョン・施策



しあわせ信州
山々と育む すこやかな国

実現したいビジョン

- アルプスの眺望と大自然に囲まれた伊那谷地域に、長野県の強みをいかし、東京一極集中から多極分散型国家の実証モデルとなる都市圏域を先行形成することで、「広域中核地方圏」としての新たな価値の創造を実現する。
- これにより、リニア中央新幹線の開業効果として期待される人流等の活発化を実現することで、地域活性化を目指すとともに、近隣県とも連携し、開業効果を広く県下に拡大することにより、長野県の魅力向上につなげることをとする。



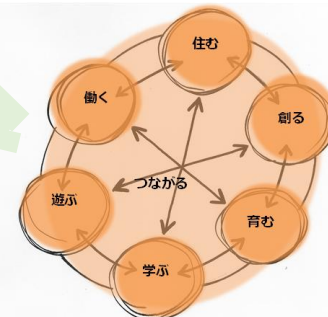
長野県駅（仮称）を中心に、伊那谷地域の強みをいかし、一極集中から多極分散型国家のモデルとなる実証都市圏域の先行形成

実証モデル都市圏域の実現に向け、並行して以下の施策を展開

- 広域的な交通体系の構築
- 次世代先端産業等へのチャレンジ
- 世界に選ばれる観光地域づくりと広域観光の推進
- 持続可能な環境先進地域づくり
- 豊かな自然環境と独自の文化などを活用した教育・学びの先進地域づくり
- 新たな暮らし方・働き方の先導モデルの形成
- 市町村とともにリニア中間駅圏域のまちづくりを推進

リニア中央新幹線の
開業効果を県内外に波及

実証都市圏域形成後の
成果イメージ



図：長野県作成



産業振興と人材育成の拠点エス・バード



県産材を活用した木造建築



出典：林野庁HP

人流データの調査分析（令和8年度～）



しあわせ信州
山々と育む すこやかな国



長野県駅を利用する二次交通に関する検討

リニア開業による人流分析

- 1) 長野県駅から各市町村へ人流推計
- 2) 山梨県駅、岐阜県駅から県内各市町村へ人流推計

・統合モデルを活用した交通需要推計システムの作成

- 長野県駅の駅勢圏の流動把握（長野県駅⇔市町村）
- 隣接県駅への流動把握（長野県内市町村⇔山梨県駅、岐阜県駅）

・リニア駅の長野県各市町村からの利用者数（二次交通）の推計

⇒長野県から他県、他県から長野県に移動する交通が、どの圏域で、どのような目的（業務・観光）で、どの程度、リニア（長野県駅）を利用するか（リニアへの転換交通）を推計

・長野県各市町村における誘発需要に資する取り組み検討

- 新たな居住人口、産業立地等の開発（内容と規模等）、観光振興等の取り組み
- 上記の開発、取り組みの実現可能性とそれに伴う長野県駅への交通サービス（自動運転、公共交通等）の考え方

・上記の誘発交通需要に関するシナリオ設定とそれに対応した将来交通需要予測モデルの検討

- 各市町村の計画・取り組み等を反映した誘発交通需要に関する将来シナリオの設定
- 将来シナリオに対応した交通需要予測モデルの検討（モデル構造、モデル変数等）

長野県が実施する人流調査及び二次交通の推計について
調査推計手法の共有等による各県との連携を検討



地域再生計画に関する取組（関係人口・観光）

【関係人口】

飯田市や下伊那地域における関係人口 創出に係る取組について事例研究

南信州ライフミーティング

移住者の運営するゲストハウスを会場に登壇者による
移住のリアルトークやまちあるきを通じて南信州の暮らし
や魅力を知るイベント



連携の方向性

各県における関係人口創出に係
る取組（キーパーソンの発掘等）
の共有

目指す将来像

関係人口と地域住民が連携した
新たな地域づくりを目指す

【観光】

岐阜県知事と長野県知事の懇談会（R7.8.4）において、 中山道をはじめとした広域観光での連携について提案

中山道の活用

豊かな自然や日本らしい宿場町の風景が
味わえることから多くのインバウンド旅行者が
来訪、特にサムライロード（馬籠宿～妻籠
宿までの約9km）は人気が高まっている



連携の方向性

まずは隣接県同士で共通する
テーマにおける観光資源等につい
て情報共有

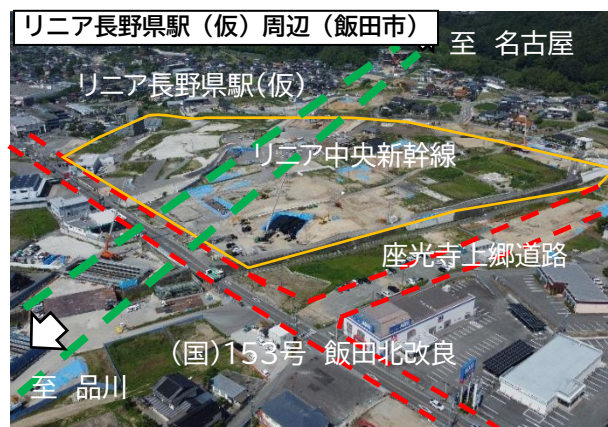
目指す将来像

リニア中間駅を核とした周遊型
観光地域づくりを推進する

リニアを活かした交流圏拡大道路整備事業（リニア関連道路整備事業）

「長野県リニア活用基本構想」の実現に向け、リニア開業時までには効果発現を目指した「リニア関連道路整備事業」を実施

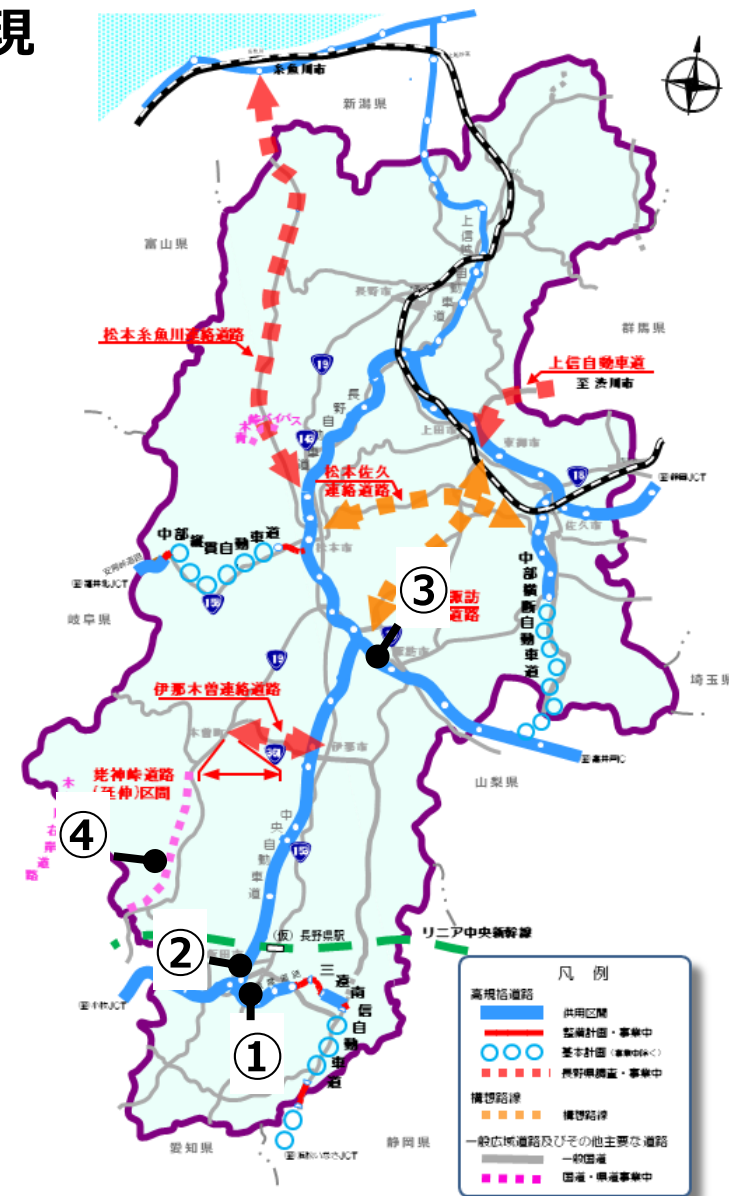
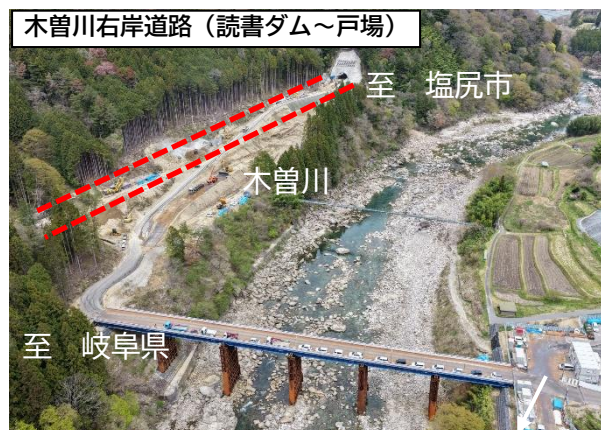
- ① リニア長野県駅（仮）周辺の道路整備 ② 座光寺S.I.Cの設置



- ### ③ 諏訪湖S.I.Cの設置



- #### ④ 木曽川右岸道路の整備



地域課題に関する取組（建設促進協議会・JR東海との意見交換）



しあわせ信州
山々と育む すこやかな国

リニア中央新幹線建設促進長野県協議会



開催日：令和7年8月6日（水）
開催場所：飯田合同庁舎

リニア中央新幹線の早期建設及び整備による地域振興の実現を強力に推進することを目的として、県内の関係団体で組織する「リニア中央新幹線建設促進長野県協議会」の総会を開催
「早期開業・開業時期の明確化」など8項目の決議を採択

知事とJR東海社長のトップ会談



開催日：令和7年9月26日（金）
開催場所：JR東海東京本社

県協議会総会決議を踏まえJR東海へ要請するとともに、以下の項目についてJR東海社長と意見交換

- ・品川～名古屋間の早期開業及び開業時期明確化
- ・安全着実な工事進捗と丁寧な説明及び生活・自然環境への影響低減
- ・環境への配慮、発生土及び要対策土の対応、工事車両の安全対策
- ・観光振興及び地域振興について
- ・多極分散型国家のモデルとなる実証都市圏域の形成（本社機能一部移転）

関係市町村長とJR東海との意見交換会



開催日：令和8年1月14日（水）
開催場所：飯田市役所

関係市町村長とJR東海により、以下のテーマについて意見交換

- ・地域の信頼、住民理解の確保、コミュニケーション
- ・工事の安全確保、車両の安全運行
- ・発生土、要対策土
- ・環境への影響回避、低減
- ・地域振興、観光振興、地域貢献



しあわせ信州
山々と育む すこやかな国

長野県駅周辺整備（飯田市）及び機運醸成に関する取組

リニア長野県駅（仮称）の駅前広場整備状況（飯田市）



※「飯田・リニア駅前空間デザインノート2024」より
（駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議検討していくためのイメージです）

- ・飯田市において、**R10年度中の一部供用に向けて駅前広場を整備**
- ・一部供用時から官民連携で地域の特色を活かした賑わいづくりに取り組み、開業時にはさらなる活性化へとつなげる
- ・地域産木材の大屋根や交流施設（仮称）等の整備を通じ、「信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口」の基本理念をハード・ソフトの両面から取り組む

いいだリニア展望台の開設（JR東海）

リニア長野県駅及び周辺の整備状況を一望できる「いいだリニア展望台」を**R8.4月にJR東海が開設**

県としては長野県公式観光サイト「GoNAGANO」に特集記事を掲載するなど、機運醸成に向けた広報を実施



木曽地域リニア活用推進協議会

リニア中央新幹線の整備を、木曽地域全体の地域振興につなげ、発展に資するためR7.3月に設置

「観光・交流」、「生活交流・しごと」、「交通ネットワーク」の3つのテーマで部会を設けて研究・検討を実施

木曽地域リニア活用推進協議会 観光・交流部会

令和7年 7月 8日（火）
（開場：10:00）10:30・12:00

内容：パネリストディスカッション
「飯田・リニア駅前空間デザインノート2024」～リニア開業に向けたまちづくり～
コーディネーター：栗原 孝典（長野県観光庁長官）
参加費：無料（先着50名）

パネリスト：
栗原 孝典（長野県観光庁長官）
山本 隆一（飯田市市長）
山本 隆一（飯田市市長）
山本 隆一（飯田市市長）

お問い合わせ：飯田市観光課 0261-221-2211